

独断！お国自慢・栃木県

あくまでも個人の視点で、独断と偏見に満ちた「お国自慢」を披露する読者投稿コーナーです。皆様からのご投稿をお待ちしております（1000字程度＋写真）。
宛先は、p28「談話室」をご覧ください。

ジャパンカップサイクルロードレース IN 宇都宮

◆宇都宮にはお国自慢が満載！

「宇都宮といえば餃子！」と思う人が多い今日この頃。でも、実は他にもたくさん、宇都宮のお国自慢はあるのです。例えば、「災害のないまち！全国調査」なんてものがあれば、きっとトップテン入り間違いなし。あの世界のナベサダ（宇都宮出身のジャズ奏者）やスタジオジブリの宮崎監督（小学生時代に宇都宮へ戦争疎開。作品の中に宇都宮を思わせるような風景がたくさん出てきます！）が、宇都宮にゆかりがあるってことも自慢の一つ。今回は、その数ある自慢の中から、「ジャパンカップサイクルロードレース」を紹介します。

◆サイクルロードレースの日本のメッカ

ヨーロッパでは、サイクルスポーツは、サッカーと人気を二分するといわれています。サイクルスポーツといっても、競輪ではありません。「ツール・ド・フランス」、「ジロ・デ・イタリア」などの大会で有名な、サイクルロードレースです。このロードレースにおける、日本でのメッカが宇都宮なのです。

ロードレースとは、簡単にいうと一般道を使って行われる自転車レースのこと。その世界的大会「ジャパンカップサイクルロードレース」が、毎年、宇都宮で開催されます。

この大会の何がすごいのか。まず、出場する選手。昨年は、クネゴ（ランプレ所属、2004年世界ランク1位）、シンケビッツ（クイックステップ所属）など、20人の超一流選手が出場（大会参加選手総数60人）。サッカーに例えると、ベッカム、ジダン、ロナウジーニョ クラスのトッププロが、宇都宮に集結、熱き戦いを繰り

広げる訳です。

◆トップ選手の走りを体感できるジャパンカップ

レースは、宇都宮市森林公園内の古賀志山林道を中心とした高低差185m、1周約14kmの周回コース、11周で競われます。カラフルなサイクルジャージを身にまとった選手達が、アドレナリン全開で一気に駆け上がるつづら折の急峻な上り坂、最高時速約80kmにも達するスピードで走り抜ける直線道路。約5万人の観客は、目の前を走る選手達の息づかい、汗、そして風をまさに体感し、酔いしれます。

数あるプロスポーツの中で、選手をこれほど間近で味わえる大会や試合は、宇都宮で開催されるジャパンカップ以外にはありません。ぜひ、一度宇都宮に来て、ジャパンカップを体感してください。

宇都宮市総合政策部広報広聴課
矢古宇 克

「2006ジャパンカップサイクルロードレース」は、10/21～22、宇都宮市森林公園周回コースにて開催。詳細は、公式ホームページ(<http://www.japancup.gr.jp/>)で紹介されています。また、今大会は、11/5・7・8にJ SPORTS (CS放送) で放送されますので、どうぞご覧ください。



撮影：ジャパンカップサイクルロードレース実行委員会